

中1国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 94.4%

ねらい：漢字が正確に読み書きできるかを問う。

分析と対策：「補う」の部首は「ころもへん」です。「しめすへん」にしないように気をつけましょう。また「批」は「比」と形が似ています。どのようなときにどちらの漢字を使うのかを覚えておきましょう。

2 同音・同訓異字 85.0%

ねらい：同音異義語・同訓異字を正確に答えられるかを問う。

分析と対策：漢字には同じ読み方をするものが多くあるので、それぞれの漢字を正確に覚える必要があります。漢字自体の意味を理解していると、同じ読み方の漢字でも文の中で適切に使うことができるようになります。

3 敬語 35.0%

ねらい：敬語の理解について問う。

分析と対策：敬語には、尊敬語と謙譲語、丁寧語があります。主語に着目し、自分側なのか相手側なのかを理解した上で正しい敬語にしていきます。また二重敬語にも注意しましょう。

4 文学的文章読解 63.3%

ねらい：登場人物の心情を、人物の行動や表情、言葉などから読み取る力を確認する。

分析と対策：主人と歩のやり取りから、主人が何を思い、どのような心情になったのかを表情や言動から読み取ります。(1)(2)(3)(4)(6)は、言葉や表現、文脈を把握する問題です。(5)は歩の発言の意図を正しく読み取ります。(7)は主人の心情についての問題で、理由と合わせてどのような気持ちになっているのかを読み取ります。(9)は本文全体から表現の特色を読み取ります。

5 説明的文章読解 42.9%

ねらい：具体例に注目しながら、筆者の主張を読み取る力を確認する。

分析と対策：設問文を読み飛ばさないように注意して、適した部分を答えていきましょう。同じような内容が述べられている箇所は印をつけるなど、あとで読み返すときにわかりやすいように、自分なりに工夫することも大切です。また、筆者の主張部分は問題に出題されることが多いので、意識して読み進めていきましょう。(1)(4)(5)(6)は、若さや環境について述べられていることに着目し、筆者の意見を正しく読み取る問題です。(2)は筆者が具体例として挙げている内容を整理してまとめる問題です。(3)は出題箇所の前後の文脈を正しく把握する問題です。

全体の平均点は 62.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。